

第34回水の作文コンクール 審査評(優秀賞)

(五十音順)

賞	題名 学校名・学年 氏名	審査評	
地方審査 優秀賞	祖母から教えてもらったこと 指宿市立山川中学校 1年 岩崎 詩織	祖母のおかげで水は大切なものと当たり前のように感じていた筆者。友人とのある出来事を通してさらにその思いを強くしています。中学生らしい臨場感あふれる作品です。	宿泊学習における体験から「水を出しっぱなしにはいけない」という祖母の教えを無意識に実践していた自分に誇りを持ちながら、周りの友人へも水の大切さを堂々と訴えることができた体験を綴ったさわやかな作品。
地方審査 優秀賞	わたしたちと水 薩摩川内市立祁答院中学校 2年 若杉 里紗	日常のひとコマが鮮やかに描かれています。何気ない疑問から水の無駄遣いに気づき、中学生らしいすぐに実行できる提案がなされています。	都会では水道水をそのまま飲めないことを知り地元の水の素晴らしさを実感する。貴重な水の無駄遣いを防止するために日常生活における具体的な提言をしている。
地方審査 優秀賞	有難いから大切へ 鹿児島大学教育学部附属中学校 3年 脇田 颯洲	無人島キャンプで体験した日常の当たり前のありがたさ。水のありがたさや大切さを実感した筆者の今後の取組が期待されます。	水の確保に苦勞した無人島でのキャンプ体験から「当たり前であることの有難さ」を学び、水に対するそれまでの認識を新たにすることができたという作品。体験に裏付けされた強い思いが伝わってくる。

第34回水の作文コンクール 審査評(入選)

(五十音順)

賞	題名 学校名・学年 氏名	審査評	
地方審査 入選	水のありがたさ 大口明光学園中学校 3年 西 あかね	日常の何気ない疑問から安全でおいしい水が飲めることへの感謝の思いを強めた筆者。学校での水がない不便な体験を通して、節水への決意が表れています。	日常生活における水の使用場面を思い起こし、水のありがたみに感謝する気持ちを素直に綴った作品。安全な飲料水を確保できない国の子どもたちに思いを馳せ、恵まれた自分たちにできることから始めようと決意を述べている。
地方審査 入選	父母に学ぶ水活用術 指宿市立山川中学校 1年 東畑 光希	あるTV番組から水の節約に目を向けた筆者。家族でのキャンプを通して、父や母の姿から水を大切にしていこうと決意を新たにしています。	日頃から節水を実践している両親の姿や家族でキャンプに行った時に経験した水くみ体験から、水の大切さを実感したという素直な気持ちを綴った作品。両親から教わったことを後輩たちにも受け継いでいきたいと述べる。
地方審査 入選	水の浄化、自然の力 学校法人津曲学園鹿児島修学館中学校 2年 三好 紗理依	環境づくりの大切さについて、授業で学習したことや調べたことなど、論理的にまとめられています。自分の体験や提案がなされると、より説得力のある文章になります。	水資源の確保の問題や水の浄化方法などについて詳しく調べ、限られた資源を大切に利用することの大切さを訴えている。特に、自然の浄化作用や再生能力を生かそうとする訴えは説得力を持つ。
地方審査 入選	あたり前ではないこと 池田学園池田中学校 3年 横山 あさみ	海外旅行を通して水のありがたさを痛感した筆者は、帰国して水について考え、調べ始めます。身近なところから実行できる取組に期待します。	現在、自分の置かれている恵まれた水道事情を、海外旅行での不自由な体験と東日本大震災における水の確保に苦労する被災者の姿から見つめ直し、自分のできることから実践していこうという決意を述べた作品。
地方審査 入選	水の大切さリレー 薩摩川内市立祁答院中学校 2年 吉永 梨香	母から叱られたことで水の大切さに気づく筆者。水を大切にしたい思いをリレーするという発想と構成に工夫のみの作品です。	偶然視聴した、海外の水不足の地域に井戸を掘るといテレビの企画番組に感動し、水を何不自由なく使用している日ごろの自身の生活を見つめ直した。母親から指導を受け妹へも受け継いでいこうとする姿勢が微笑ましい。